

## 令和8年度 交通安全県民運動

### 夏の交通事故防止運動実施要領

#### 運動の目的

夏季は、行楽等により交通の流れが変化することや、夏特有の解放感や暑さからの疲れ等による注意散漫が原因となる交通事故、休み中のこどもが関係する交通事故の発生が懸念される。

この運動は、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

#### 運動の期間

令和8年7月13日（月）から7月22日（水）までの10日間  
一斉行動日 7月13日（月）

#### 運動の重点

- ① こどもと高齢者の交通事故防止
- ② 前方注意や安全確認の徹底等基本的な安全運転の励行
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 自転車利用時のヘルメット着用をはじめとする被害軽減対策の徹底



令和7年度 JA 共済主催  
交通安全ポスターコンクール入賞作品  
齊藤 仁衣菜さんの作品（江津市立高角小学校2年）



令和7年度島根県交通安全協会主催  
交通安全ポスターコンクール入賞作品  
宮川 碧貴さんの作品（雲南市立加茂小学校4年）

～**し**っかりと **ま**もるルールで **ね**がう安全～

主唱 島根県交通安全対策協議会

運動の重点	推 進 事 項
① こどもと高齢者の交通事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 運転者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交差点や横断歩道の手前では減速し、歩行者や自転車利用者の有無の確認を徹底する。</li> </ul> </li> <li>◎ 歩行者・自転車等利用者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歩行者は飛び出し・車の直前直後の横断はしない、自転車利用者は、交差点では徐行・一時停止して安全確認を徹底するなど、基本的な交通ルールやマナーを遵守する。</li> <li>○ 早朝や夕暮れ時・夜間の外出時は、明るい服装を心がけ、反射材とライトの使用に努める。</li> </ul> </li> <li>◎ 高齢者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加齢に伴う身体機能の変化を自覚し、明るいうちに用事を済ませ、夜間の外出を控えるなど、自分の能力と周囲の状況に応じた安全行動を励行する。</li> </ul> </li> <li>◎ 学校・家庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路横断時の安全確認の徹底や、飛び出し・車の直前直後の横断はしないなど、事故に遭わないよう、交通安全の「声かけ」を励行する。</li> </ul> </li> <li>◎ 関係機関・団体・地域・職場 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歩行者・自転車利用者等への思いやり運転の励行を呼びかける。</li> <li>○ 高齢者に対し、加齢に伴う身体機能の変化を自覚させ、安全行動を励行させるよう、参加・体験型の交通安全教育を実施する。</li> </ul> </li> </ul>
② 前方注意や安全確認の徹底等基本的な安全運転の励行	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 運転者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前をよく見て運転に集中する。特に交差点や横断歩道付近では、減速、徐行又は一時停止して歩行者や自転車の有無など安全確認と安全速度を徹底する。</li> <li>○ レジャー等での長距離運転は、目的地までの交通状況の確認、運転前の体調管理、早めの休憩や運転交代など、余裕のある計画を立てる。</li> </ul> </li> <li>◎ 関係機関・団体・地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運転者の前方注意や安全確認の徹底等、基本的な安全運転を促す取組を推進する。</li> <li>○ 過労運転や脇見運転が重大事故の原因となることを周知する。</li> </ul> </li> </ul>
③ 飲酒運転の根絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 運転者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」を徹底する。</li> <li>○ 飲酒した翌日もアルコールの影響<sup>*1</sup>があることを認識し、アルコール検査器等を使用することで二日酔いで飲酒運転を防止する。</li> </ul> </li> <li>◎ 自転車 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車も車両であることを自覚し、飲酒運転は絶対にしない。</li> </ul> </li> <li>◎ 関係機関・団体・地域・家庭・職場 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」を徹底する。</li> <li>○ 飲酒運転は悪質かつ危険な反社会的行為であることを周知するとともに、飲酒会合時には、ハンドルキーパー運動<sup>*2</sup>を実践し、飲酒運転を許さない環境作りを徹底する。</li> </ul> </li> </ul>
④ 自転車利用時のヘルメット着用をはじめとする被害軽減対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自転車利用者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乗車用ヘルメットを着用する。</li> </ul> </li> <li>◎ 運転者 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「車に乗れば、まずシートベルト」を合言葉に、同乗者全員に正しくシートベルトを着用させる。</li> <li>○ こどもの体格に応じたチャイルドシートを正しく使用し、6歳以上でも体格によりシートベルトが着用できない子どもにはジュニアシートを使用する。</li> </ul> </li> <li>◎ 関係機関・団体・学校・家庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乗車用ヘルメットやシートベルト、チャイルドシートの必要性や効果について理解させ、着用するよう指導する。</li> </ul> </li> </ul>

## ※1 アルコールの影響

「酒は、ひと眠りすれば体から抜ける。」と勘違いしていませんか？

種類	ビール	焼酎	チューハイ	日本酒	ワイン	ウイスキー
数量	500 ml	100 ml	350 ml	180 ml	200 ml	60 ml
飲酒量の目安	中ジョッキ 1杯	コップ1杯 (水割り5:5)	350ml缶 1本	1合	ワイングラス 2杯	ダブル 1杯

この数量で…

アルコールを分解  
するのに**5時間以上**  
かかります！！

2倍 飲めば 10時間！  
3倍 飲めば 15時間！！

(注) アルコールの分解速度は、年齢、性別、  
体格、体質等による個人差が大きく、ある  
研究によれば、速い人と遅い人の間には、  
2～3倍の差があるといわれています。

## ※2 ハンドルキーパー運動

仲間と飲食店などへ自動車で行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、飲酒後の仲間を送り届けるという飲酒運転を根絶するための運動です。

